

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	働く女性の家運営事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			05	01	02	04	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	行政主体	
	1 生涯学習						担当課係等	市民課中央出張所	
⑥スポーツ・レクリエーション施設の利用促進								管理担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 働く女子及び勤労者家庭の主婦の職業生活等に必要の援助と福祉の増進に寄与する。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 市民の健康維持等の増進	【対象者】 施設利用者
【全体概要】 市民の体力及び健康の増進を図ることを目的に、トレーニング器具を有効利用するための「トレーニング室利用講習会」を開催する。	【特記事項】 受講者20名の講習会を年5回開催
【平成29年度 事業内容】 トレーニング室利用講習会の開催	【平成30年度 事業内容】 トレーニング室利用講習会の開催
【令和元年度 事業内容】 トレーニング室利用講習会の開催	

■事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	35	35	35
歳入計（千円）		35	35	35
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	35	35	35
歳出計（千円）（A）		35	35	35
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.40	0.40	0.40
職員人件費（B）		3,082	3,007	3,162
総事業費（A）＋（B）		3,117	3,042	3,197

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	トレーニング室利用講習会の開催	回	目標	4.00	5.00	5.00
	トレーニング室利用講習会の開催回数		実績	5.00	5.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	トレーニング室利用講習会への参加割合	%	目標	90.00	90.00	95.00
	トレーニング室利用講習会への参加割合（参加者数/定員）		実績	95.00	95.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 勤労者への支援や福利厚生への推進につながる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の健康維持等の増進につながる為。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市ホームページ等への掲載内容を工夫し、講習会参加率の向上を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 講習会を受講し修了証を取得しないと、トレーニング室を利用できない為、市民への影響がある。講習会を受講せず利用した場合、器具の使用方法がわからず危険である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 器具の移転により統廃合連携は可能。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現状では必要最低限の予算及び人員で対応しているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 講習会参加希望者は幅広い年代であり、公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	今後も講習会を継続して開催し、新たな利用者の安全を確保する。公共施設等マネジメントを推進し、器具の移転を含めた施設の有効利用を検討する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：加藤 洋一 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 利用者が器具を安全に使用するためには、器具の使用方法についての講習会は必要である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：山内 美則 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 目標設定は適当である。これからも継続して取り組まれない。		